



総括質疑 (9月14日、9月15日)

自民党

- 質疑 1 決算総括・財政運営の留意点**
財源を使わないから財政の健全性が担保される訳でなく、投資して経済成長の足掛かりにするのが財政の本質故に、財政運営は実質単年度収支と社会状況に適應した執行を基本に中長期バランスの視点が重要。
- 質疑 2 不用額と予算流用**
不用率の高い事業や予算流用は予算建ての段階での計画性という点で問題視されないか。
- 質疑 3 入札事務**
入札は特異な社会背景では経済の低迷を招かないよう、公的社会資本形成の元となる事業体の供給力の衰退防止に留意することが重要。
- 質疑 4 補助金交付基準と交付の現状**
経済状況などのコスト上昇に困惑する世情の動向では補助は不足気味。物価スライドを反映させた補正係数などの導入の柔軟化対策も必要。
- 質疑 5 地方消費税交付金の使途状況**
地方消費税交付金の歳入は消費税法第1条2項に沿った事業に充当されるべき。
- 質疑 6 農業基盤整備費について**
西南部農道や水路、農業用排水機場の整備に対する要望件数の多さを鑑み、課題改善のために農業基盤整備費予算の増額または法定外公共物管理の分担を庁内で見直すべきでは。
- 質疑 7 医療費の適正化について**
子ども医療費拡充に向けては、恒久的に健全な保険制度を手渡していくために全市民に適正受診と適正服薬の推進とともに、医療費に保険料と税金が使われている仕組みを分かりやすく周知すべき。
- 質疑 8 教育の情報化推進経費について**
ICT教育が推進される中、タブレット端末の課題や教職員のスキルの差をどのように改善・解決されているか。また、今後は教職員の負担軽減、全ての子どもたちへ質の高い授業展開が可能となるよう、ICT教育の成果を可視化できる検証を実施してほしい。
- 質疑 9 小泉八雲熊本旧居保存会などの顕彰団体への補助金増額を!**
9月1日にジェーンズ邸など9箇所の記念館が地震完全復興したが、小泉八雲熊本旧居保存会を始めとする100%ボランティア市民で運営されている顕彰団体への補助支援金が、大学生の小遣い並では「仏造って魂入れず」である。大幅に増額して記念館の活性化と、観光客誘致へ力を注ぐべきではないのか!



熊本自民

- 質疑 1 令和4年度決算状況報告書から歳入の増減について**
市税歳入増加要因として、個人市民税での納税義務者の増加、国庫支出金歳入減の要因として、子育て世帯関連給付金などに係る国費減、ふるさと応援寄附金歳入増について問う。
- 質疑 2 令和4年度決算状況報告書から歳出増について**
公債費の過去の推移が示されているが、令和3年から増加している。その要因と今後の予測について問う。
- 質疑 3 財政指標の状況 財政力指数について**
財政力指数の近年の推移と政令指定都市の中で下位、低位となっている要因とは。
- 質疑 4 市民に信頼される職員の育成について**
職員一人一人に公務員としての法令遵守と懲戒処分の指針の厳格な運用継続、全体の奉仕者として市民の模範となるような育成などと、市民に信頼される職員を育成するための研修や取り組みを行わなければならないのか。実施したことにより、どのような成果が出てきているのか。また、メンタルヘルス対策事業での成果結果にある職場環境の改善とは何を行ったのか。

- 質疑 5 自立自主のまちづくり活動の活性化について**
地域コミュニティセンターは全小学校校区に設置を目指すものと思っているが、全校区数とはいかない検証値の根拠と設置目標は別にあるのか。
- 質疑 6 安心して子どもを産み育てる環境づくりについて**
納得いく医療を受けることができたと感じた市民の割合が、令和2年度から令和4年度で低下している。その要因と今後の指標はどう推移していくのか。
- 質疑 7 客引き行為等対策事業について**
客引き行為対策事業での決算額の内訳、巡回指導員の選定方法やパトロール状況、巡回指導員による違反行為対策を実施した成果について問う。
- 質疑 8 TSMC熊本進出に伴う産業用地整備について**
現在での産業用地整備事業の成果について市長の評価を問う。また、適地調査の方法や、なぜ市単独で工業団地造成をしないのか。幹線道路から離れた区域の開発は可能なのか。妙見川沿いの道路新設陳情に対して局内での議論やプロジェクトチームで検討はされたのか問う。
- 質疑 9 市営相撲場の整備について**
〔(仮称)熊本市スポーツ施設ストック適正化計画〕策定と関連して相撲場の整備について検討したことはあるのか。



市民連合

- 質疑 1 コロナ禍中の採用職員研修について**
コロナ禍で新採新任研修が十分にできなかった。大事な人材育成の機会でもあり再度、実施すべき。
- 質疑 2 コミュニティセンターの修繕経費の予算配当について**
施設修繕をスピーディーに行うため、各区役所に修繕費執行の裁量権を付与し予算の配当を行うべき。
- 質疑 3 ブレーキ踏み間違い事故防止について**
車に後付けできる踏み間違い防止装置の普及のため、購入助成事業を市独自で取り組むべき。
- 質疑 4 介護分野における雇用対策について**
コロナ禍で行った失業者就業支援事業で多くの就労実績につながった。事業を継続すべき。
- 質疑 5 空き家における危険除去について**
空き家が廃墟化し強風などで住人が事故に巻き込まれる。より強制力のある対応が必要。
- 質疑 6 共有私道の整備補助の拡充について**
本年4月から所有者同意の要件が緩和された。幅広く周知を行い、補助事業を拡充すべき。
- 質疑 7 健軍電停での乗客の安全確保について**
混雑時に乗客が道路上にはみ出し大変危険。延伸計画の中で優先的に対策を行うべき。
- 質疑 8 給食室における熱中症対策について**
エアコンのない給食室がほとんど。40度近い中での作業は危険、早急に熱中症対策を行うべき。
- 質疑 9 ヤングケアラー支援体制強化事業について**
ヤングケアラーの認知度が低い。決算額の内訳や相談実績、新たな取り組みは。
- 質疑 10 地域猫適正管理推進事業の拡充について**
飼い主のいない猫の不妊去勢手術を動物愛護センターが実施。事業拡充及び動物病院との連携はできないか。

